



2024年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日

上場会社名 株式会社クロス・マーケティンググループ 上場取引所 東
コード番号 3675 URL <https://www.cm-group.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長兼CEO (氏名)五十嵐 幹
問合せ先責任者 (役職名)取締役CFO (氏名)小野塚 浩二 (TEL)03(6859)2259
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年6月期第1四半期の連結業績(2023年7月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	5,629	△7.8	△17	—	△57	—	△135	—
2023年6月期第1四半期	6,102	14.1	510	5.0	535	18.5	327	22.3

(注) 包括利益 2024年6月期第1四半期 △80百万円 (—%) 2023年6月期第1四半期 407百万円 (45.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年6月期第1四半期	円 銭 △7.08	円 銭 —
2023年6月期第1四半期	16.53	16.38

(注) 2024年6月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年6月期第1四半期	百万円 13,420	百万円 5,841	% 42.9
2023年6月期	14,308	6,089	42.0

(参考) 自己資本 2024年6月期第1四半期 5,756百万円 2023年6月期 6,002百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年6月期	円 銭 —	円 銭 6.00	円 銭 —	円 銭 6.00	円 銭 12.00
2024年6月期	—	—	—	—	—
2024年6月期(予想)	—	6.50	—	6.50	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日~2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	19.5	3,000	53.8	2,900	54.3	1,800	78.7	90.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年6月期1Q	19,970,464株	2023年6月期	19,970,464株
2024年6月期1Q	855,498株	2023年6月期	792,498株
2024年6月期1Q	19,117,372株	2023年6月期1Q	19,792,771株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますのでご了承ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11
4. その他	12
継続企業の前提に関する重要事象等	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動への直接的な影響がほぼ解消し、経済活動の正常化が一段と進みました。一方で、混迷が長期化するウクライナ情勢のほか、世界的な金融引き締め等に起因する金融市場混乱や海外景気不振、物価上昇やサプライチェーンの制約等の懸念が、多様な業種に広がる当社顧客企業の収益環境に影を落とすなど、依然として先行き不透明な状況が継続しました。

当社グループの事業領域であるデジタルマーケティング市場及びマーケティングリサーチ市場は、顧客企業によるDX（デジタルトランスフォーメーション）への旺盛な投資を背景に堅調となっており、今後も中期的な成長が予想されます。一方で、消費者の購買行動は多様化が加速しており、これに対応した消費者ニーズ調査手法の革新やプロモーション手段の進化が求められるなど、競争環境の激化が想定されます。

こうした経営環境の下、当社グループは持続的な成長を実現するため、中期経営計画「DX Action 2024」の指針である「マーケティングDXパートナー」の実践へ向けた様々な取り組みを通じて、ビジネスモデルの進化とサービス対応領域の拡大を推進しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,629百万円（前年同四半期比7.8%減）、営業損失は17百万円（前年同四半期は営業利益510百万円）、経常損失は57百万円（前年同四半期は経常利益535百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は135百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益327百万円）となりました。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	増減額 (増減率)
売上高	6,102	5,629	△473 (△7.8%)
営業利益又は営業損失(△)	510	△17	△527 (-%)
経常利益又は経常損失(△)	535	△57	△592 (-%)
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	327	△135	△462 (-%)

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(デジタルマーケティング事業)

デジタルマーケティング事業では、国内のグループ各社がデジタル領域に軸足を置き、販促支援メディアの運営、プロモーション・マーケティング支援、システムの受託開発及び保守・運用、人材供給等、DX（デジタルトランスフォーメーション）に関わる総合的なマーケティングソリューションを提供しております。

同事業の外部顧客に対する売上高は2,203百万円（前年同四半期比1.8%減）となりました。メディア・プロモーション分野では受注単価の底打ちと株式会社トキオ・ゲッツの新規連結効果により前年同四半期比増収を確保したものの、ITソリューション分野ではシステム受託開発及び人材関連が小幅ながら前年同四半期比で減収となりました。

同事業のセグメント利益は1百万円（同99.2%減）となりました。これは主に、売上高減少の影響に加え、比較的利益率の低いビジネスの拡大に伴う売上総利益率の低下により売上総利益が減少したことによるものです。

(データマーケティング事業)

データマーケティング事業では、国内外のグループ各社において、マーケティングリサーチにおけるオンライン・オフラインでのデータ収集を中心にサービスを提供しております。

同事業の外部顧客に対する売上高は1,956百万円（前年同四半期比14.7%減）となりました。これは主に、1) 株式会社クロス・マーケティングを中心とする国内事業会社では、不透明な経済情勢の中でもお客様企業のリサーチ需要は底堅く、前年同四半期比で小幅な減収にとどまった一方、2) Kadenceグループの海外拠点では、北米

を中心にコロナ禍後に発生していた需要集中の波が一巡し、前年同四半期比で大幅な減収となった、等によるものです。

同事業のセグメント利益は282百万円（同52.3%減）となりました。これは、売上高減少による売上総利益減のほか、主に海外拠点における前期末までの人員体制強化に伴う販売費及び一般管理費の増加によるものです。

(インサイト事業)

インサイト事業では、国内外のグループ各社において、各種マーケティングデータの複合的な分析、消費者インサイトの発掘、レポート作成などを通じ、お客様企業のマーケティング戦略における意思決定への支援を行っております。

同事業の外部顧客に対する売上高は1,470百万円（前年同四半期比6.1%減）となりました。これは主に、1）株式会社クロス・マーケティングを中心とする国内事業会社では、フルサービスのオンライン調査を中心にリサーチ需要は底堅かったものの、医療・ヘルスケア領域の伸び悩みにより前年同四半期比ではほぼ同水準にとどまった、2）Kadenceグループの海外拠点では、主に英国が厳しく前年同四半期で減少となった、等によるものであります。

同事業のセグメント利益は102百万円（同63.8%減）となりました。これは、売上高減少による売上総利益減のほか、前期末までの人員体制強化に伴う販売費及び一般管理費の増加によるものです。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、資産については、流動資産が10,420百万円（前連結会計年度末比872百万円減）となりました。主な項目としては、現金及び預金5,259百万円、受取手形、売掛金及び契約資産3,369百万円となっております。固定資産は3,000百万円（同16百万円減）となりました。主な項目としては、ソフトウェア689百万円、のれん575百万円となっております。その結果、総資産は13,420百万円（同889百万円減）となりました。

(負債)

負債については、流動負債が4,724百万円（前連結会計年度末比423百万円減）となりました。主な項目としては、買掛金1,169百万円、1年内返済予定の長期借入金909百万円、短期借入金482百万円となっております。固定負債は2,855百万円（同218百万円減）となりました。主な項目としては、長期借入金2,536百万円となっております。その結果、負債は7,579百万円（同641百万円減）となりました。

(純資産)

純資産は5,841百万円（前連結会計年度末比248百万円減）となりました。主な項目としては利益剰余金が5,070百万円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の業績予想につきましては、2023年8月10日に公表しました連結業績予想から変更はなく、売上高300億円（前期比19.5%増）、営業利益30億円（同53.8%増）、経常利益29億円（同54.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益18億円（同78.7%増）としております。

当社の業績予想は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき、季節要因等を反映して作成しております。今後、業績予想に修正が見込まれる場合には、適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(デジタルマーケティング事業)

当第1四半期連結会計期間において、連結子会社である株式会社ドウ・ハウスは、スキップ株式会社を吸収合併しており、スキップ株式会社は連結の範囲から除外しております。

(データマーケティング事業)

当第1四半期連結会計期間において、連結子会社である株式会社ウィズワークは、株式会社Infiexを吸収合併しており、株式会社Infiexは連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,477,820	5,258,869
受取手形、売掛金及び契約資産	3,137,898	3,369,267
仕掛品	714,047	711,802
その他	999,511	1,120,827
貸倒引当金	△37,149	△40,879
流動資産合計	11,292,126	10,419,887
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	206,764	198,301
工具、器具及び備品（純額）	64,406	55,436
その他（純額）	7,092	6,822
有形固定資産合計	278,262	260,559
無形固定資産		
ソフトウェア	631,508	689,421
のれん	622,633	575,336
その他	207,534	160,719
無形固定資産合計	1,461,675	1,425,476
投資その他の資産		
投資有価証券	323,375	326,187
関係会社株式	73,516	72,248
繰延税金資産	324,650	368,800
その他	554,885	546,811
投資その他の資産合計	1,276,426	1,314,045
固定資産合計	3,016,363	3,000,080
資産合計	14,308,489	13,419,966

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	983,469	1,169,356
短期借入金	393,258	482,003
1年内返済予定の長期借入金	945,801	908,964
未払法人税等	546,368	185,096
賞与引当金	514,234	398,376
その他	1,764,349	1,580,534
流動負債合計	5,147,479	4,724,329
固定負債		
長期借入金	2,758,918	2,536,168
役員退職慰労引当金	105,569	105,569
資産除去債務	129,122	129,427
その他	78,629	83,479
固定負債合計	3,072,238	2,854,643
負債合計	8,219,717	7,578,972
純資産の部		
株主資本		
資本金	646,709	646,709
資本剰余金	569,203	569,203
利益剰余金	5,320,692	5,070,344
自己株式	△482,763	△535,735
株主資本合計	6,053,841	5,750,521
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,281	8,359
為替換算調整勘定	△54,636	△3,159
その他の包括利益累計額合計	△51,355	5,200
新株予約権	1,600	1,600
非支配株主持分	84,686	83,673
純資産合計	6,088,772	5,840,994
負債純資産合計	14,308,489	13,419,966

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上高	6,101,909	5,628,853
売上原価	3,516,080	3,606,754
売上総利益	2,585,829	2,022,099
販売費及び一般管理費	2,075,665	2,039,236
営業利益又は営業損失(△)	510,164	△17,137
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,760	419
持分法による投資利益	11,421	—
為替差益	21,499	—
その他	5,603	1,575
営業外収益合計	40,283	1,993
営業外費用		
支払利息	12,259	13,372
持分法による投資損失	—	1,268
為替差損	—	21,135
その他	3,086	5,881
営業外費用合計	15,346	41,657
経常利益又は経常損失(△)	535,102	△56,800
特別損失		
固定資産除却損	4,409	314
特別損失合計	4,409	314
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	530,692	△57,114
法人税等	191,513	78,804
四半期純利益又は四半期純損失(△)	339,180	△135,919
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	12,018	△638
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	327,161	△135,281

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	339,180	△135,919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,007	5,078
為替換算調整勘定	62,427	51,102
その他の包括利益合計	67,434	56,180
四半期包括利益	406,614	△79,738
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	393,009	△78,725
非支配株主に係る四半期包括利益	13,605	△1,013

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第1四半期連結累計期間において、2023年5月15日及び同年6月15日開催の取締役会決議に基づき、63,000株の自己株式を取得しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式は52,972千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が535,735千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	デジタルマーケティング事業	データマーケティング事業	インサイト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,243,816	2,291,912	1,566,181	6,101,909	—	6,101,909
セグメント間の内部売上高又は振替高	109,932	199,888	15,111	324,932	△324,932	—
計	2,353,748	2,491,801	1,581,292	6,426,841	△324,932	6,101,909
セグメント利益	107,391	591,005	280,165	978,561	△468,396	510,164

(注) 1 セグメント利益の調整額△468,396千円は、セグメント間取引消去343千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△468,739千円が含まれております。全社費用等は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用等であり、その主なものは管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、新たに株式を取得したことにより株式会社Infidexを連結の範囲に含めております。これにより、「デジタルマーケティング事業」ののれんが56,610千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	デジタルマーケティング事業	データマーケティング事業	インサイト事業	合計
一時点で移転される財又はサービス	2,197,276	2,291,912	1,566,181	6,055,369
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	46,540	—	—	46,540
顧客との契約から生じる収益	2,243,816	2,291,912	1,566,181	6,101,909
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,243,816	2,291,912	1,566,181	6,101,909

当第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	デジタルマーケティング事業	データマーケティング事業	インサイト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,203,072	1,955,759	1,470,022	5,628,853	—	5,628,853
セグメント間の内部売上高又は振替高	110,601	189,834	11,755	312,189	△312,189	—
計	2,313,673	2,145,592	1,481,777	5,941,042	△312,189	5,628,853
セグメント利益	879	281,783	101,518	384,180	△401,317	△17,137

(注) 1 セグメント利益の調整額△401,317千円は、セグメント間取引消去327千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△401,644千円が含まれております。全社費用等は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用等であり、その主なものは管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	デジタルマーケティング事業	データマーケティング事業	インサイト事業	合計
一時点で移転される財又はサービス	2,138,286	1,955,759	1,470,022	5,564,067
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	64,786	—	—	64,786
顧客との契約から生じる収益	2,203,072	1,955,759	1,470,022	5,628,853
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,203,072	1,955,759	1,470,022	5,628,853

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。